

事業区分	文化芸術事業		鑑賞事業				
事業名	文学座ユニット公演「お〜い幾多郎」						
目的・内容	<p>質が高く、家族で楽しめる演劇公演を実施し、文化人口の拡大を図る。</p> <p>【使命】文化人口の拡大とレベルアップ</p> <p>【事業計画の柱】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鑑賞公演の多様化と鑑賞公演とワークショップを連動させた事業の展開（高校演劇部のための演劇ワークショップ・演劇創造事業と連動） ・県内各文化施設との協働事業の展開（財団法人米子市教育文化事業団との共催） 						
開催日時	平成19年8月31日(金)19:00開演						
会場	米子市文化ホールメインホール						
入場料・参加費 (友の会)	一般[自由席] 3,000円 (2,500円)	高校生以下[自由席] 1,000円 (900円)					
集客状況	入場者数	347名	設定席数	636席	集客率	54.5%	
事業費状況	予算額	収入	836,000円	支出	4,477,000円	収支比率	18.6%
	決算額	収入	977,500円	支出	1,881,652円	収支比率	51.9%
来場者アンケート (主なもの)	<p>【主な意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然な演技で、人間の絆について考えさせられた。暖かい芝居だった。 ・本物の竹を使うなど、舞台装置が良かった。 ・こういう演劇をまたして欲しい。本物の演劇を久しぶりに観た気がした。 ・終演時間が延びるのは困る。 						
1次評価 (内部)	<p>【成果】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①米子市教育文化事業団との共催で、両者にメリットが大きく、連携が上手くとれて広報販売や当日運営に大きく貢献した。 ②例年より多くの新規顧客を開発できた。 ③様々な販促ツールにより、本事業だけでなく、当財団PRや今後の販売促進活動にもつながる成果が挙げられた。 <p>【課題】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①高校演劇ワークショップ、演劇創造事業、演劇大学とより一層連動させるための工夫が必要である。 ②演劇公演は、鑑賞人口が少なく集客に苦勞する為、積極的に助成制度を活用していく。 						
2次評価 (財団評議員)	<p>【成果】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①質の高さ、家族で楽しめる演劇ということで当日の観客の層から見ても明確である。文化人口の増加が期待できる。 ②鑑賞とワークショップの連動により、直接、指導でかかわった人の作品ということで親近感が持てるのと演劇への指向性が高まることが期待できる。 ③県内他施設との連携・協働体制が取れたことは高く評価できる。市町村ホールとの連携をこれからも増やしていければよいと考える。 ④将来の新しい演劇ファンを作るための取り組みとして評価できる。 <p>【課題】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①終演間近に帰路を急ぐ人の退席が気になった。米子のバス事情等にも配慮した開演、終演時間の設定も考えてはどうか。 ②今回の演劇の選定が良かったかどうか疑問が残る。地道に無難な演劇をチョイスすることも大切ではあるが、インパクトのあるものも必要ではないだろうか。 ③演劇関係者だけでなく、一般の方にも分かりやすいPRがほしかった。 ④当日の配布パンフレットがなかったがやはり一般的な解説資料は必要である。 						
今後の対応	<ul style="list-style-type: none"> ・事業選定の際に、高校生の鑑賞しやすい時期・時間（土日の昼公演等）を考慮し、選定する。 ・引き続き、地元市町村やホール等との連携協働を今後とも進めていく。 ・演劇ファン以外にも食指が働くようなものなども検討していく。 ・事前に公演内容の解説などを作成し、演劇ファン以外の方でもわかりやすいように工夫したPRを検討する。 ・出演者、公演内容等が分かるパンフレットを用意する。 ・演劇は、ワークショップ等との連携させて今後も継続して事業を企画していく。 						